

Title	ラノステロールからのコレステロール生合成に及ぼすラノステロール同族体の影響
Sub Title	
Author	佐藤, 良博(Sato, Yoshihiro) 園田, よし子(Sonoda, Yoshiko)
Publisher	共立薬科大学
Publication year	1979
Jtitle	共立薬科大学研究年報 (The annual report of the Kyoritsu College of Pharmacy). No.24 (1979.) ,p.107- 107
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学会講演要旨
Genre	Technical Report
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00062898-00000024-0109

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

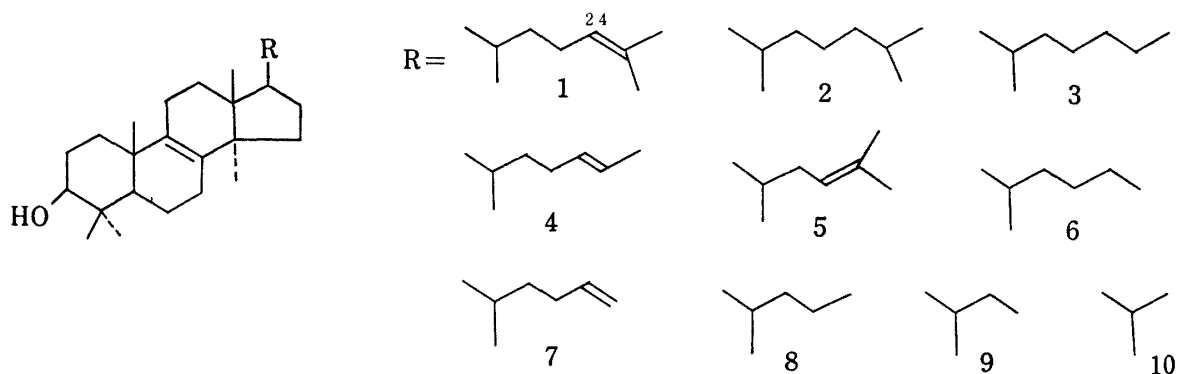
ラノステロールからのコレステロール生合成に及ぼす ラノステロール同族体の影響

佐藤 良博, 園田よし子

〔日本薬学会第99年会 (1979年8月) で発表〕

〔目的〕 ラット肝の S_{10} はラノステロール(1)をコレステロールへ変換するが, この反応はラノステロールの側鎖が短くなった同族体にも起こり得るかという問題と, さらにまたこの同族体がラノステロールからコレステロールへの変換反応に際し, どのような影響を有するかの問題とがあるが, 今回はまず後者を解明することを目的とした。

〔方法〕 基質となるラノステロールの標識化は 24 -ケトン体を $[^3\text{H}]\text{NaBH}_4$ で還元, 次いで POCl_3 処理, さらに LiAlH_4 処理により $[24\text{-}^3\text{H}]$ ラノステロールと $[24\text{-}^3\text{H}]$ ジヒドロラノステロールを $3:1$ で得た。これは $10\% \text{AgNO}_3$ シリカゲルクロマトにより分離した。またラノステロール同族体としては側鎖の炭素が一個から 5 個少ない(3)~(10)を合成した。



enzyme source としてラット肝の $10,000\times g$ 上清 (S_{10}) を用い, cofactor を加え, $[24\text{-}^3\text{H}]$ ラノステロール ($19 \mu\text{M}$) を基質としてラノステロール同族体 ($45 \mu\text{M}$) の存在下, 37°C , 3 hr 反応し, $[24\text{-}^3\text{H}]$ コレステロールへの変換率を求めた。

〔結果・考察〕 上記ラノステロール同族体はすべて, $[24\text{-}^3\text{H}]$ ラノステロールの $[24\text{-}^3\text{H}]$ コレステロールへの変換率を低下させた。この中, 特に nor 体(3)と pentanor 体(10)が強い作用を示した。